

# 新宿通信

NO. 97

- 今年度 校内模試スケジュール
- 2025年度入試情報
- 今後の予定

## 「繋がり」への「気づき」は、人を幸せにする

国語科 佐藤 藍

誠に僭越ながら自己紹介をさせていただきます。高校時代、剣道部（平部員）とRHK（力仕事担当）と化学部（幽霊部員）に所属していました、新宿高校の卒業生です。自分で言うのも何ですが、「運の良さ」だけは誰にも負けないのではないかと自負しております。振り返ると、「ああ、あのときのあの経験が、こんな風に生かされるなんて」とか、「これとこれって、一見関係がなさそうだけど、繋がっていたんだ!」とか、後になってから気づくことが多くあります。世の中の全てのことは、直接または間接的に繋がっていますよね。そういう繋がり気づくことができる度に、自分は何て幸せ者なのだろうと感ずるのであります。

高校時代の経験は、私の中で様々なことに生かされています。授業で学んだ一つ一つのことも生きていますが（数学のベクトルと物理って関連しているんだ!とか、漢文の読み方って、他の現代文や古文や英語の文章を俯瞰して読むときにも使えるな!とか）、挙げると切りがないので断腸の思いで割愛します。あるとき、先生が「美術館や博物館は、高校生まではかなりお得に行けるから、絶対に高校生のうちにたくさん行った方がいい!」と仰ったことをきっかけに、上野へ通うようになりました。それまで断片的にしか知らなかった文化や歴史も、展覧会へ行くたびに点と点が繋がって線になる経験をすることができました。大学では学芸員課程を履修し、学芸員の資格を取得しました。展覧会を「観る側」だけでなく、「魅せる側」の視点は、「人に何かを伝えるとき、『伝わる』ようにするにはどうすればよいのか」を考えるとときのヒントを与えてくれます。

部活動では、化学部の先輩が液晶の実験中、先取りで「音も光も波。今見えているあらゆるものの色は、その物がその色をしているのではなく、その色の波長の光だけを反射して、その他の波長の光を吸収しているからそう見えるんだ」と教えてくださったことも、現在でも論理的な文章等の内容理解に役立っています。RHKで教わったケーブル類を八の字に巻く巻き方は、教員になってから HDMI ケーブルをスピーディ且つ絡まないように巻くのに役立ちました。そして、新宿高校剣道部は、私をいつも支えてくれる存在です。剣道を始めたのは小学校2年生からでしたが、高校で剣道部に入るまでは殆ど試合経験もなく、3年間周りの足を引っ張ってしまっただけでした。高校時代は技術面で全く貢献できませんでしたが、卒業後も大学のサークルで剣道を続け、高校の剣道部へも卒業生として通ううちに、少しずつ技を磨くことができました。ありがたいことに、高校の剣道部での繋がりはその後も広がり続け、四段審査のときも五段審査のときも、高校での繋がりで一緒に稽古をした仲間と共に臨み、仲間に支えられて合格することが出来ました。こうして剣道を続けることができているのも、新宿高校に入り、高校で剣道部に入り、現在でも多くの方々と繋がりが持てているからこそです。

自分がそれまで気づけなかったことが見えたとき、人は成長するのだと感じます。こうして教員として母校へ帰り、未来を担う皆さんや保護者の皆様、周りの先生方から毎日たくさんの気づきを与えていただける私は幸せ者です。が、何事にも全力で挑戦し、自分の力でどんどん色々なことに気づける皆さんはきっと、もっともっと自分で幸せを掴むことができますね!

## ○今年度 校内模試スケジュール

新宿高校では、外部の模擬試験を「実力テスト」等の名称で、校内で実施しています。駿台や河合の模試は校外会場でも実施されますが、同じ模試の場合は、校外会場では受けないで、校内で受験してください。学年ごとの予定は以下の通りです。

### 1年生

・スタディーサポート (ベネッセ)	4/30 済
・進研模試 7月 (ベネッセ)	7/5
・GTEC	9/11
・進研模試 11月 (ベネッセ)	11/6
・全統高1 記述模試 (河合塾)	1/29
・学びみらい PASS (河合塾)	3/7, 10

### 2年生

・進研模試 7月 (ベネッセ)	7/5
・GTEC	9/11
・進研模試 11月 (ベネッセ)	11/6
・全統高2 記述模試 (河合塾)	1/29
・共通テスト模試 (河合塾)	3/7, 10

### 3年生 (\*外部模試: 学校で一括申込、校外会場で受験)

・第1回全統記述模試 (河合塾)	4/30 済
・進研記述模試 (ベネッセ)	7/5
*全統共通テスト模試 (河合塾)	7/28
・第3回全統記述模試 (河合塾)	9/29
・駿ベネ記述模試 (駿台ベネッセ)	10/14
・駿ベネ共通テスト模試 (駿台ベネッセ)	11/5, 6
*全統プレ共通テスト (河合塾)	11/17
・共通テストシュミレーション	12/23, 24

※共通テストシュミレーションは、校内にて当日を想定し同様の時間割での実施を予定しています。

### ※3年生へ【ドッキング判定】について

国公立大学の総合判定は、マーク模試と記述模試の結果を組み合わせたドッキング判定を用います。

- ・10月駿ベネ記述模試+11月駿ベネ共テ模試
- ・第3回全統記述模試+11月全統プレ共テ
- ・共通テスト自己採点結果+10月記述模試

でドッキング判定が出ます。その判定結果を参考にして面談等を行い、最終的な出願校を決めていきます。

また、大学名のついた“冠模試”も積極的に受験することをお勧めします。

## ○【2025年度入試】各大学の入試変更点

2025年度入試は大学入学共通テストで新たに「情報Ⅰ」が実施されるなど、比較的大きな変更が予定されています。また、大学個別での変更を予定している大学もあるので、志望校の情報を定期的にチェックするよう心掛けましょう。主な大学の情報を掲載しておきます。

### 東京学芸大学

教育学部の人員が、後期 156→100 人に減少。  
総合選抜抜型 49 人 (新設)、  
学校推薦型選抜 119 人→134 人に増加

### 東京工業大学

総合型・学校推薦型選抜の女子枠の拡大に伴い、  
一般選抜の募集人員が大学全体で 892→824 人に減少。  
2024 年度中を目途に東京医科歯科大と統合し「東京科学大学」となります。

### 東京都立大学

人文社会学部、健康福祉学部を除く多くの学部・学科で、  
前期の個別試験で英語を新たに実施。  
健康福祉学全学科、都市環境学部とシステムデザイン学部の一部学科で外部英語検定試験のスコアを活用。

### 横浜国立大学

都市科学部環境リスク共生学科は前期の個別試験  
で理科を廃止、英語と数学で合否判定する。  
理工学部数物・電子情報系学科情報工学教育プログラムの  
入学定員 47→70 人に増加。

### 早稲田大学

文学部は、一般選抜の募集人員が 415→370 人へ減少。  
社会科学部、人間科学部では、個別試験のみの入試方式  
を廃止。社会科学部は、共通テスト・個別試験併用型が  
新規実施となり、一般選抜募集人員が 450→370 人に減少。  
基幹理工学部は、学系を再編し、現行の学系Ⅱを工学系と情報系に改組予定。スポーツ科学部では、小論文型の個別試験を総合問題に変更。

### 慶応大学

環境情報学部と薬学部は「数学」の出題範囲に  
数学ⅢCを追加。

パスナビ (2025 年国公立入試変更点速報)

[https://passnavi.obunsha.co.jp/article/exam\\_analysis/03/](https://passnavi.obunsha.co.jp/article/exam_analysis/03/)

## 文系から医師へ、バックパッカーとして世界へ

医師（医学博士・大学客員教授）

34 回生 小松 茂

私は今までの半生を、好きな言葉/格言で振り返りながら紹介したいと思います。私の経験が学生さんの参考になれば幸いです。

### 1) Where there is a will, there is a way. (意思あれば道あり)

新宿高校では2年生に進級するとき文系と理系でクラス分けをしていました。私は両親とも文系であったこともあり漠然と法学部か経済学部に進もうと文系コースに進みました。高校時代は柔道部に所属し在学中に柔道三段はとれましたが、文武両道にはほど遠く大学受験に失敗し浪人生となりました。浪人してよく考え直してみたら法律や経済にあまり興味を感じていない自分に気づきました。当時は単に就職のために法学部や経済学部への進学を考えていたと思います。当然、やりたくないことのためにやる受験勉強には熱意がわかず二浪することとなりました。浪人生活は劣等感の塊で自分が世間のお荷物になっていると感じていました。人や社会の役に立ちたいという思いと自分が本当にやりたいこと勉強したいことは何かを考え、なぜか医学部に行きたいと思うようになりました。当初は文系志望で微分、積分、物理、化学など殆ど勉強していない自分が今更理系へ転向し、医学部受験など無理と考えていました。しかし若さとは恐ろしいものです。目標が決まるとそれに向かい勉強し始め、なんとか国立大学の医学部に滑り込むことができました。” Where there is a will, there is a way.” です。若いときはやり直しがきく、本当に自分がやりたいことに邁進すれば道は開けると感じました。

### 2) When in Rome, do as the Romans do. (郷に入れば郷に従え)

次に大学生活です。以前から外国への興味はありましたが、大学に入ると世界をもっと知るために旅に出たいと思うようになりました。大学でも柔道を続けていましたが、夏休みや春休みは実家に帰省せずバックパックを背負って海外へ出かけました。当時はインターネットもなく、格安航空券も今ほどない時代でした。学生で貧乏でしたが、なんとか片道の航空券を調達し、それ以外の宿泊、移動、帰りの航空券などは現地で入手するといった旅のスタイルでした。旅の目的は観光地に行くというよりは旅自体にあり、泊まる場所や移動手段の交渉をしたり、現地の人と同じように屋台で食事したり、地元の人や世界各地からの旅人と交流したりすることが目的でした。つねに” When in Rome, do as the Romans do.” を意識していました。おかげで大学院時代も併せて40以上の国と地域を旅して、各国の文化、世界の常識、外国から日本(人)がどのように見られているのか、トラブルシューティングなど旅から色々学ぶことができました。

### 3) What one likes, one will do well. (好きこそものの上手なれ)

次に医師としての生活です。研修医の初日は、受け持ち患者さんの病状悪化の対応でいきなり徹夜からのスタートとなりました。当時は今のような「働き方改革」などなく、若いときには月に15日間当直したこともありました。体力的にはつらい時期もありましたが、医師の仕事は人の役に立てる仕事であり、また常に勉強

し続けることができる仕事でもあります。自己満足かもしれませんが、浪人時代に感じていた「人や社会の役に立ちたい」という思いが少しはかなったと思っています。医師の中にも色々な人がいますが、その道の” 大家” といわれる先生をみえますと、寝る時間や食事の時間よりその研究をしているのが好きといった先生たちがいます。まさに” What one likes, one will do well. ” です。地位や名誉のために仕事や研究をしていたのでは、長続きもしませんし大成もしません。受験では不得意科目の勉強もしないわけにはいきませんが、社会に出たら自分がやりたいこと、好きなこと、得意なところを磨き伸ばしていけばよいと思います。

#### 4) Health comes first. (健康第一)

今までいろいろ書きましたが、人生最後は” Health comes first. “だと考えています。どんなに優秀でも金銭的に裕福でも病気になると幸福とはいえません。私を指導してくださった医学部教授の先生は東大医学部出身でしたが 40 代でがんによりお亡くなりになりました。私も 50 代で病気を患いましたが復帰できました。自分が病気になると患者さんの気持ちがとてもよく分かります。そして改めて健康の大切さを感じました。皆様も健康に留意して今後の人生を歩んでいってください。

(同窓会のご協力を得て「先輩からの言葉」を掲載しています。)

## ○今後の予定 (進路関係)

5月31日 夏期講習の申込〆切 (3年生)

6月上旬 『進路のしおり』納入予定 (配布日は学年により異なります)

## ○第一志望校に合格するタイプとは

中間考査が終わりました。しっかり計画を立て、準備をして臨むことができたでしょうか。

第一志望校に現役合格する生徒のタイプとはどんなひとなのでしょう。

河合塾による、受験生向けの進路講演会において以下のように分析されていました。

### ①授業ファーストな生徒

- ・授業を中心に、学習計画を立てる。
- ・定期テスト、模試を大事にしている。

### ②基礎力を大切にしている生徒

- ・基本 (高2までの範囲) を大切にしている。原点は教科書。
- ・反復練習の重要性を分かっている。「3冊1回」より「1冊3回」

### ③最後まで諦めない生徒

定期考査は恰好の問題集とも言われます。答案が返却されたら間違えた問題は解き直しをしましょう。やり直しとは、もしもう一度試験を受けることになったときに満点が取れる状況を作ることです。

そして、学習の基本は「繰り返し」やることです。授業、定期テスト、模試と視点を変えて、基礎基本に何度も立ち返ることで実力は形成されていきます。しっかり定期考査の解き直しをしましょう。